



みどり市

2008

5月5日

NO.7

議会だより



浅原体験村雛人形祭り(大間々町)

大間々町浅原地区は、織物業が盛んで、様々な布が織られており、中でも雛生地ひなせいちの生産工場が多数あります。そのような地域性を十分に活かし、浅原体験村のPRと、雛人形の製作を介した地域と参加者とのふれあい、産業と消費者との交流を目的としております。この雛生地を利用したイベントとして、雛人形のコンクールを開催することにしました。

平成20年第1回定例会(3月)

<主な内容>

本会議・補正予算・請願	2～3
平成20年度当初予算・委員会報告	4～6
総括質疑	7～9
一般質問	10～21
まちの声	22

平成20年第1回定例会

平成20年度一般会計予算

167億9400万円を可決

3月定例会が2月26日から3月18日までの22日間にわたって開会され、平成20年度の各会計予算、平成19年度補正予算、63件の議案が上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決・承認されました。

定例会の初日には市長の施政方針が示され、一般質問では17名の議員が市政を問いました。

審議結果

可決、承認された63議案は次のとおり

- | | | | | |
|---|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認（水道企業債の繰り上げ償還） ・行政組織条例の改正（市長公室の設置） ・職員の自己啓発休業条例の制定 ・報酬費用弁償支給条例の改正（区長報酬の算出方法の統一など） ・個人情報保護条例の改正（災害時、個人情報の提供を可能に） ・情報公開条例の改正（水 | <ul style="list-style-type: none"> ・道事業管理者を公営企業管理者に） ・職員の育児休業等条例の改正（育児のための短時間勤務） ・職員の勤務時間、休暇等の条例の改正 ・職員の修学部分休業条例の改正 ・郵政民営化に伴う関係条例整備の条例の制定 ・特別会計設置条例の改正（後期高齢者医療特別会計の設定） ・自転車等駐車場条例の改正 ・長期継続契約ができる締 | <ul style="list-style-type: none"> ・結果条例の改正 ・ふるさと思いやり寄附金条例の制定（新たな自主財源確保） ・附属機関設置条例の改正（補助金等検討審議会、男女共同参画審議会、慣行制定委員会の設置） ・後期高齢者医療条例の制定 ・国民健康保険条例の改正（課税項目に後期高齢者支援分の追加） ・国民健康保険条例の改正（自己負担割合2割を6歳の義務教育就学前までに、70から74歳の負担割 | <ul style="list-style-type: none"> ・合を2割に変更） ・福祉医療費支給条例の改正（高額介護合算療養費支給制度の創設） ・介護保険条例の改正（保険料の激変緩和措置の一年延長） ・廃棄物の処理及び清掃条例の改正（委託業者以外の持ち出し禁止） ・小口資金融資促進条例の改正（借り換え制度の一年延長） ・東町農産物直売所の設置及び管理条例の制定 ・農林業センターの設置及び管理条例の制定 ・青少年に有害な図書等の自動販売の規制条例の改正 ・文化財保護条例の改正（管理体制強化のための整備） ・社会体育施設条例の改正（施設改善に伴うもの） ・市道の路線廃止 | <ul style="list-style-type: none"> ・市道の路線認定 ・平成20年度農業共済事業の事務費の賦課 ・平成20年度農業共済事業の損害防止に係る特別積立金取崩し ・平成19年度一般会計補正予算 ・同国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算 ・同国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算 ・同老人保健特別会計補正予算 ・同介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算 ・同介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計補正予算 ・同簡易水道事業特別会計補正予算 ・同富弘美術館事業特別会計補正予算 ・同下水道事業特別会計補正予算 ・同競艇事業特別会計補正 |
|---|---|--|--|---|

平成19年度 各会計の補正状況

一般会計	補正額	△6612万8千円
	補正後の予算額	168億7389万0千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	1億5029万7千円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	補正額	3456万1千円
	補正後の予算額	56億4121万5千円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	補正額	5000千円
	補正後の予算額	1億9275万1千円
老人保健特別会計	補正額	△1億4559万5千円
	補正後の予算額	41億2939万4千円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	補正額	△1億3061万3千円
	補正後の予算額	27億8539万2千円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	補正額	△658万7千円
	補正後の予算額	1539万2千円
簡易水道事業特別会計	補正額	△50万0千円
	補正後の予算額	8149万0千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	0円
	補正後の予算額	9470万円
富弘美術館事業特別会計	補正額	△1582万1千円
	補正後の予算額	2億8426万4千円
下水道事業会計	補正額	△2320万0千円
	補正後の予算額	13億9030万0千円
競艇事業特別会計	補正額	200万0千円
	補正後の予算額	761億7539万4千円
水道事業会計	補正額	△8713万5千円
	補正後の予算額	15億6604万7千円
国民宿舎事業会計	補正額	歳入補正 0円
	補正後の予算額	4億3026万8千円
農業共済事業会計	補正額	0円
	補正後の予算額	2億8842万7千円

予算	・同水道事業会計補正予算	・同老人保健特別会計予算
・同国民宿舎事業会計補正予算	・後期高齢者医療保険特別会計予算	・同富弘美術館事業特別会計予算
・平成20年度一般会計予算	・同介護保険(保険事業勘定)特別会計予算	・同下水道事業特別会計予算
・同鉄道経営対策事業特別会計予算	・同介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計予算	・同競艇事業特別会計予算
・同国民健康保険(事業勘定)特別会計予算	・同簡易水道事業特別会計予算	・同水道事業会計予算
・同国民健康保険(診療所勘定)特別会計予算	・同農業集落排水事業特別会計予算	・同農業共済事業会計予算
	・同農林水産省(市議会議事堂)の新設による	・同国民宿舎事業会計予算

請願

●石川県河北郡津幡町舟橋地区の場外舟券発売場『(仮称)ボートピア津幡』進出の是非について調査・審議されることを求める請願	●石川県河北郡津幡町舟橋地区の場外舟券発売場『(仮称)ボートピア津幡』進出の断念を求める請願
経済建設常任委員会に付託↓不採択	経済建設常任委員会に付託↓不採択

意見書の要旨

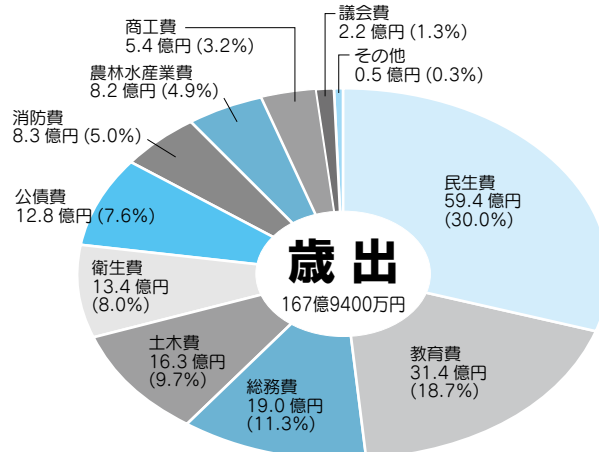
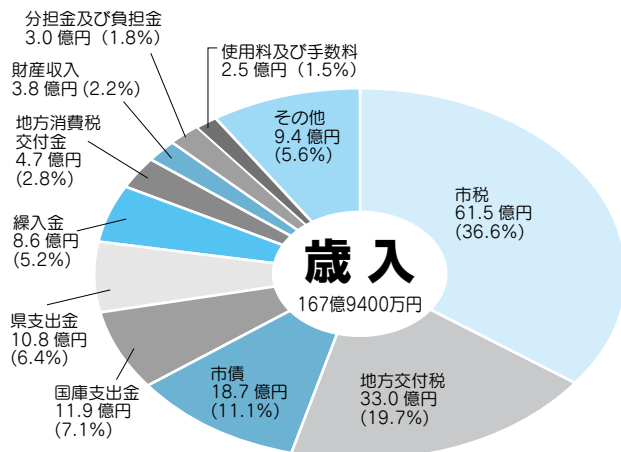
道路特定財源などの確保に関する意見書の要旨
道路は、市民の日常生活

や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、現に、市民からの要望が最も多いのが、道路整備の推進である。
よって、国会並びに政府におかれては、地方における道路整備の現状とその必要性を十分認識され、次の実現を強く要望する。

- 1 道路特定財源の維持
- 2 暫定税率に係る道路特定財源関連法案の継続
- 3 地方公共団体への配分割合の増加
- 4 道路特定財源を段階的に地方へ財源移譲
- 5 地方道路整備臨時交付金の継続

お詫び
前回発行の「議会だより6号」の7ページ1段、7行目および2段、7行目の「市有地」は「私有地」の誤りでした。訂正してお詫びします。

平成20年度 一般会計予算 167億9400万円



企業会計予算

事業会計名	予算額
水道事業会計予算	10億8457万5千円
農業共済事業会計予算	2億7554万5千円
国民宿舎事業会計予算	3億5400万0千円

特別会計予算

特別会計名	予算額
鉄道経営対策事業特別会計予算	1億0139万4千円
国民健康保険（事業勘定）特別会計予算	53億0344万7千円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計予算	1億4261万3千円
老人保健特別会計予算	5億2371万4千円
後期高齢者医療保険特別会計予算	6億6337万5千円
介護保険（保険事業勘定）特別会計予算	28億5157万7千円
介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計予算	1625万8千円
簡易水道事業特別会計予算	7540万1千円
農業集落排水事業特別会計予算	6900万0千円
富弘美術館事業特別会計予算	3億8000万0千円
下水道事業特別会計予算	12億6500万0千円
競艇事業特別会計予算	642億5332万9千円

予算特別委員会

委員長報告

予算特別委員会は、3月6日、7日、10日の3日間、にわたり開催した。

予算特別委員会に付託された議案第42号平成20年度みどり市一般会計予算の設定についてから、議案第57号平成20年度みどり市国民宿舎事業会計予算の設定についてまでの各議案について、慎重に審査し採決した結果、原案を可決すべきものと決した。

主な審査内容

問 福祉タクシー料金助成事業費238万円とあるが、前年660万余円から激減となった理由は。

介護高齢課長 デマンドバス事業の導入検討によって、福祉タクシー助成事業は、当初予算として平成20年4月から9月までの予算計上を行った。

問 公共交通施策という観点から、健康な高齢者を対象とした福祉タクシー助成事業と、重度障害者福祉タクシー助成事業のそれぞれの方を精査する必要があるのでは。

象とした福祉タクシー助成事業と、重度障害者福祉タクシー助成事業のそれぞれの方を精査する必要があるのでは。

介護高齢課長 福祉タクシーについては、バス事業の補完事業と考えている。

社会福祉課長 重度障害者福祉タクシー助成事業は前年度比100万円程度減額となっているが、あくまで実績にもとづいた予算計上である。

問 市の公共交通施策であるから、行政全体で方向性を議論してもらいたい。

民生部長 今回はデマンドバス事業と連動して福祉タクシー助成事業を検討したいと思っているので半年間のみを計上した。議会とも十分に議論をして今後進めていくつもりだ。

問 昨年の中国産冷凍餃子が給食に使用されていた事件があったが、給食に使用する食材はどのように選定されているのか。また4月以降食材の見直しも考えられていると思うが、給食費の増加の心配はないか。

学校教育課長 食品の選定

に關しては、産地の明記された見積書と食品サンプルを栄養士、職員で国産品を優先して選定していたが、

検討結果として中国産も使用していた。一連の事件後

は、中国産と表示のある食品およびJ・Tフーズの食品は使用していない。給食費

については、献立、調理方法の工夫をして、当面は給

食費を上げない方向でいく。

問 ながめ公園および小平の里の土地賃借料について

それぞれ1500万余円、845万円と多額だが、その面積、賃借料の設定規

準、契約書の有無を確認したい。

観光政策課長 面積については、ながめ公園2万73

17㎡、小平の里6万9692㎡である。地権者に

ついてはながめ公園が8名、小平の里が27名である。契

約書はもちろん存在するが、その賃借料の規準について

は、市としても非常に高額であることは認識している。

現在、土地の評価額にもとづいて賃借料の基準再設定

を各課で調整している。

総務文教 常任委員会

付託された議案

第12号 みどり市ふるさと

思いやり寄附金条例について

第24号 みどり市文化財保護条例について

第25号 みどり市社会体育施設条例の一部を改正する条例について

委員会は、3月14日委員

全員の出席のもと、付託議

案について細部にわたる説

明を受け慎重に審査した結果、全議案について全員賛

成により可決すべきと決した。

審査結果

第12号の審査内容は、具

体化された内容の目的、優

遇措置、基金の流れ等の内容明示。

質問として、「窓口での寄

附の場合はどう対応するか」回答は、窓口にて対応する。また、申し込み書面に「公表を望めますか」

等あるが、どんな対応か。

回答は、本人の了解を得ることを大前提に等あった。

第24号は、今回の条例改正が群馬県の条例改正に伴

い、市でも精査し発展的な条例に全部改正するもの。

第5章36条に事務について

の必要事項は、教育委員会規則で定めるとあるが、規則はできているのかという

質問があり、現在検討中なので早期に決定したい。との回答を得た。

第25号の審査内容は、グラウンドゴルフ場の移転に伴う名称の変更、神梅グラ

ウンド等のナイター施設夜間照明料金の改正、条項の決定権者を市長から教育長

へ移行、文言中の施設使用料の割引率の変更、等の大きく分けて4点の変更という

ことで、特に質問や要望も無かった。その他、報告事項として、嘱託、臨時職

員の取り扱いについて、桐生大学との包括連携協定の締結、デマンドバスの次回

委員会に精査したものを再度提出、社会体育館の進捗よく状況等、職員の取り扱

いについては、委員会に何

の報告も無い状態の中、4月1日実施の方向はいかがなものか、と言うことや、

デマンドバスも、もっと具体策を提示して欲しいとの

要望、社会体育館完成時には、合併により取りやめになった様々な体育事業を再度見直し、記念事業として

何か一体感のある事業を新設して欲しい。また、早めに利用料金等も決定公表して欲しい等の要望がなされた。

懸案としては、デマンドバスの件については、もっと委員会に対して具体策を提示して欲しい。

以上、委員会における審査の内容を報告する。

民生福祉
常任委員会

付託された議案

第14号 みどり市後期高齢者医療に関する条例について

第15号 みどり市国民健康

保険税条例の一部を改正する条例について

第16号 みどり市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

第17号 みどり市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

第18号 みどり市介護保険条例の一部を改正する条例について

委員会は、3月12日委員

全員と、関係部局出席のもと、細部に渡る説明を受け、審査を行った。14号については、上位法のもと、市で定める事項ではあるが、保険料の是否を含め、納期の改善はできていないか、該当する人数と特別徴収、普通徴収の割合、延滞金、罰

則は妥当か等々、質疑審査した。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものとした。15号、16号、17号では、主に後期高齢者医療制度の創設と、少子化対策の観点から、福祉医療費補助金交付制度の拡大に

審査結果

5

よるもので、16号では、健康診査、特定検診の受診率の向上を示唆し、人間ドック補助金のエリアの拡大を求めた。詳細な質疑後、採決し全員賛成で可決すべきものとした。18号に関し、介護保険料が、平成18年、19年度において、「激変緩和措置」を講じていたものを、平成20年度も19年度の水準に留めるということから、全員の賛成をもって可決すべきものと決した。他、委員会では、平成20年第1回議会に臨むにあたり、①みどり市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正についてを協議、集団回収を奨励し、その効果は大いに上がっており、歳入の一助となつてはいるが、いまだ資源物の持ち去りが目立つことから同意した。関連し、ゴミ収集袋価格の値上げの提案があった。委員会としては、安易に認められず、執行側の工夫を求め、その額を最少に抑えることとし、市民への周知の徹底と理解をいただくこととした。

②社会福祉の観点から、通所サービス利用促進事業補助金交付要綱の判定、みどり市事業運営円滑化事業補助金要綱の判定、みどり市障害者自立支援法に基づく介護給付費等の支給決定基準に関する要綱の判定について協議、市に対し、さらなる福祉サービスの充実に求めたところである。

③平成20年度から、ファミリーサポート事業を導入し、育児から介護まで、幅広く仕事と家庭の両立を支援できるように、円滑な導入に向けて精進するよう求めた。

経済建設 常任委員会

付託された議案

請願第9号 石川県河北郡津幡町舟橋地区の場外舟券発売場『(仮称)ポートピア津幡』進出の是非について調査・審議されることを求める請願について

請願第10号 石川県河北郡津幡町舟橋地区の場外舟券発売場『(仮称)ポートピア津幡』進出の断念を求める請願について

第26号 市道の路線廃止について

第27号 市道の路線認定について

議会議案第11号 道路特定財源などの確保に関する意見書の提出について

審査結果

3月11日委員会開催。副市長ほか関係職員の出席のもと、説明を受け慎重に審査を行った。

請願第9号・第10号での委員からの発言では、場外舟券発売場は津幡町からお願いされたもの。また、この件は津幡町の問題である。競艇事業は、市に財政効果をもたらし、諸問題を解決している等の意見が多く出され、採択の結果、両議案とも不採択とした。

第26号は、公図上および道路形態がないものを廃止するものであり、第27号は、

道路敷地の寄附受け入れに伴い認定するものであり、意見も少なく、両議案とも全員賛成で原案のとおり可決するものと決した。

議会議案第11号は、今通常国会で暫定税率を維持すること等を内容とする道路特定財源法案が審議されている案件についてであるが、その適応期限が平成20年3月末に到来する。議論すべき諸課題があることは理解しているが、みどり市の厳しい財政状況や道路状況等の実情を見る限り、安定的かつ確実な財源確保は重要であることから、意見書を提出すべきという意見にまとまり、意見書の内容を慎重に検討した。市議会議長名で衆参両議長ほか関係する大臣に提出することとした。

新年度施政方針に対する総括質疑

広和クラブ

環境基本計画

上岡克己 議員

問 環境基本計画を策定するというが「基本計画推進委員会」は設置するのか。みどり市に合った環境目標をたてるべきと思うが。

市長 環境基本計画の策定については、環境アドバイザーやコンサルタントの助言をもって進めている。必要があるかと判断されれば当然設置される。

「地球温暖化防止委員会」のような庁内組織になると思う。基本計画目標は、みどり市の自然環境、社会環境に見合ったものになる。地球環境の保全、循環型社会の構築、緑の保全、環境教育学習の推進などがあげられる。

緑のカーテン事業

問 温暖化ガスの削減対策として実施する、緑のカー

テン事業の内容は。

市長 18ヶ所の公共施設や一般家庭に、朝顔やゴーヤなどの種や苗を配布し、壁面にはわせ夏場の熱と二酸化炭素を吸収させる。プラントーや土なども必要に応じて配布する。普及啓発については担当課内で検討中で、予算は66万3000円。二酸化炭素の削減メリットはエアコンの使用が抑制できる。また、打ち水効果で体感温度が下がり、花や緑で心をいやす効果もある。先進地の館林市とも連絡を取りながら、軌道に乗せたい。

緑の空間整備

大澤映男 議員

問 鹿田山や要害山などの松がマツクイムシ被害で壊滅的だ。その対策は。

市長 このままでは赤松が全滅してしまう危機的状況だ。国や県の補助を受け、市単独でも防除対策を実施している。対策は枯れ

た松の伐採と健康な松への薬剤注入があるが、主に伐採が中心となっている。被害が出ないように人家や道路に近いものを優先しているが、被害が多く追いつかず、非常に厳しい状況だ。

問 松が枯れたところは土砂崩れなどの心配がある。植林計画と民地の対策は。

市長 植林計画は自然林が

大きくなっている中に植林しても、植えた木の成長が遅れるので、現在は考えていない。松以外の自然林での保水機能と整備を考えている。民地は鹿田山で地権者が82名いるが、地権者の協力なしでは手がつけられない。

雨水排水対策

新井巖雄 議員

問 笠懸町南部ではまとまった雨が降ると道路が冠水する。側溝がない道路は川のようになってしまう。川のようになった道路を子ど

も達が通学している。道路建設予算の中では、なかなか改善が進まない。政策として側溝の整備を進められないか。

市長 通学路であれば現地調査をして改善しなければならぬ。政策的な判断として側溝を整備することも大事だ。

当面は調整池や道路内の浸透ますの掃除を行い、道路内の浸透能力の向上を図りながら、新たな側溝を接続できるように整備をした

浄化槽整備事業

問 単独浄化槽を使用している人達は生活排水の処理にこまっている。単独槽から合併槽への転換に対する補助金上乘せ制度の内容は。

市長 平成20年度から単独槽から合併槽への転換に補

助をしていく。

内容は新設補助費に10万円を加算するもの。

新設補助は5人槽で24万円。単独槽からの転換補助は34万円となる。

内訳は国が11万3000円、県が7万8000円、市が14万9000円となる。

広報に掲載し周知徹底を図る。またパンフレットなども作成し、窓口での周知も考えている。

商工会

山口慶一 議員

問 3商工会が平成21年度を用途に一体的な活動ができるよう支援するとは合併のことか。3商工会の方向も活動も違っているのに、合併のむずかしさを感じる。市として合併へ向けての後押しはするのか。

市長 一体化とは3商工会が合併し、みどり市商工会ができることだ。自分の任期中の平成21年度中になんとかしてほしいと説明してきた。3商工会で合併に向けて調査研究を行うための、みどり市地区商工会連絡協議会を設置して協議してい



▲鹿田山

る。合併はそれぞれの商工会の合意にもとづいて行うもの。一体感を醸成するには時間が必要だ。合併に向かうのなら協力したい。まだ結論がでないが、結論によつては次のアクションもあると考える。

まちづくりイベント

須藤健久 議員

問 大間々町では商工会が中心となつて、商工フェスティバルはねたきを実施している。毎年秋に行われている東町の三大祭や、笠懸町の産業祭のイベントに市は今後どのようにかわつていくのか。

市長 それぞれの文化や歴史があり、それらを尊重して事業展開を図るのが望ましい。秋のイベントが個々に行われているので、一体化について市の商工振興課と商工会、農協の職員で事務レベルの研究会を設置した。その方向性ができれば市としてのかわりについて整理がつく。イベントの開催場所や時期が重なる部分もあるので、伝統文化を守りつつ、効率的に実施



▲笠懸産業祭

みどり市新生クラブ

道路整備

阿左美守 議員

問 合併後市役所内部の不祥事、サンレイク草木の「盗難」、水道局の「収賄」事件で市民に大変迷惑をかけてしまった。縦割行政の仕組チェック機能の不備があったのではないか。

市長 今後は結果を重く受けとめ機構改革と人心一新に取り組む。県や近隣市、団体等の人事交流をはかり市民のために働ける職員の

育成をはかつていく。

問 太田敷塚インターからのアクセス道路はみどり市発展に重要だと思いが桐生伊勢崎線以北の整備をどのように進めていくか。

市長 現在では側道の幅員が変更修正にはいつている。今後は都市計画決定にむけ県に強く要望していく。

問 50号バイパス早期実現にむけて国に働きかけをしていくべきと考えるが市長の対応は。

市長 現在は測量にはいつている。来年度より用地買収交渉にはいつていく、みどり市単独で国会議員を通じて国交省道路整備局に政治的早期実現に取り組んでいる鹿交差点より笠小まで重点に位置付けを要望してきた。

問 緑の空間整備で自然観察の森としての天神山の活用整備の取り組み方は。

市長 早い時期に段階的に整備を考えている。今後はふるさと思いやり寄附金等で場合によつては整備が早まることもありえる。市民活動も考えている。

問 道路整備は地域発展、生活にかかせない事業である。長年の課題である大間々地区の虎久保バイパス完

成にむけての市の対応は。

市長 県や桐生土木に強く働きかけ、予算獲得にむけて取り組んでいく。特に用地買収に力を入れていく。

その他の質問

○自主財源の確保

○商工業の振興

○競艇事業の財源確保

平成クラブ

観光政策

坂本正幸 議員

問 美術館とサンレイクは観光事業の核となりえる施設、おもてなしの心を持つてお客様に接し、健全で活気ある職場として運営することが、みどり市の新たな観光事業による活力を創出するうえで大変重要。接客マナー・特殊な現場で働く嘱託・臨時職員の待遇に關し要綱はあくまで基本的な考え方であり、職場により応用運用ができるはずであ

った。このことは館長を推薦する時点で解決していたはず。平成21年度から全て要綱に準ずると聞くが作者との契約の整合性は保てるのか。

市長 ルールはルールとして守らなくてはならないが富弘美術館においては良好な運営の継続を優先しつつ平成20年度を調整期間と位置づけ、幅広い意見を聞きながらより良い方向で検討し施策を決定したい。要綱については幅を持って運用できると考えている、自分の感覚をもってきちんとやる。館長について最終決断は市長に有るが館長の考えは今後も最大限尊重する。

問 要綱によるパート・嘱託職員の待遇は週30時間以内、3年・5年以上は採用しないこととなっている。美術館や観光客を扱う現場には適さない、是非幅をもった運用を考えてほしい。

問 笠懸町・大間々駅、その周辺を利用した観光拠点・観光施設の連携について市長の考えを聞きたい。

市長 観光としての立地条

件はかなり高いと思っ
てい。東武赤城駅、わたらせ
溪谷鐵道、北関東道の開通
を間近にひかえ、やりかた
によってはかなりの増客が
考えられる。両毛5市とも
連携し首都圏の誘客を計画
している。東地域の観光施
設、市全体の各施設の連携
など広域・県とタイアップ
し情報発信をしていく。



▲本会議場

公明クラブ

少子化対策

宮崎武 議員

公明クラブで提出してい
た予算要望50項目が、どの
程度実現できたのか、とい
う観点も踏まえ検証をした。
問 予算編成の基本方針だ

が、財政の基盤は、経常的
経費の安定にある。家計で
も光熱費等の必要経費を抑
えなくては安定した家庭生
活は送れない。新たな事業
ばかりに経費をかけている
と安定した行政施策を行え
ない。よく考慮に入れた上
の予算執行をお願いしたい。
総合的な福祉体制作りで
妊婦健康診査費の補助も今
後、初診から出産まで、お
金の心配が無く子どもを産
んで欲しいと思うが、少子
化対策に対して、新たな施
策を実現すれば、若い人達
の定住化に繋がっていくと
考える。子育て支援も桐生
ファミリースポートセンタ
ーに委託したが、今後は、
みどり市内でNPOを立ち
上げ援助をしていく考えを
持つていくことが重要だが。
民生部長 今年度施行して
みた中で最良の物を検討し
ていく。

問 AEDの設置の件は、
私どもが声を上げた当時は、
AEDって何、に近い行政
の反応だったが、良くここ
まで周知できたという実感
がある。そこで、現在の設

置台数と今後の設置、更な
る周知の方法等確認したい。
民生部長 AEDは、市内
12台あり来年度は、小学校
10校と幼稚園1園で11台設
置予定。

問 ごみ減量化を推進する
ためにゴミ袋を値上げしよ
うとしているのか、確認し
たい。

民生部長 あくまでも石油
高による値上げと考えてい
る。

宮崎 財政運営は、身の丈
にあった歳入歳出を常に念
頭をお願いする。以上、今
回の施政方針には、私ども
の要望する部分の15項目以
上が実施されている。3分
の1の予算要望ができてい
るとの判断をした。今後と
も、みどり市民のための行
政施策を続けてお願いした
い。

至誠クラブ

教育政策

椎名祐司 議員

問 小・中学校において、
優れた技能等を持つ外部専

門家が授業を行う「スタデ
イ・エキスパート」事業の
位置付けは。

教育部長 子どもたちに有
意義な教育活動が展開でき
るよう実施する。「総合的
な学習の時間」を活用して、
各学校には、各教科の目標
にあった専門家（福祉部
門・環境部門等）を招聘で
きるようにしたい。

問 「特別支援教育支援
員」の取り組みと成果につ
いて。

教育部長 今年度は「特別
支援教育コーディネータ
ー」を中心とした校内指導
体制を組んでいる。普通学
級に在籍し、支援を必要と
する児童に対して支援計画
を作成し、学級の担任と連
携して支援を行っている。
しかし、支援を必要とする
児童数が大変多いことか
ら、コーディネーターだけ
では適切な支援ができない
状態にあるため、「特別支
援教育支援員」を配置し計
画的に支援を行う予定であ
る。平成20年度は、小学校
6校に7名を配置し、今後
は、必要に応じて増やして

いきたいと考えている。

問 個性豊かで歴史と文化
の香り高いまちづくりを推
進するための「地域文化財
総合整備計画」の目的と理
念は。

教育部長 市内に点在する
個々の歴史遺産や自然遺産
を総合的、多面的な観点か
ら再評価することによって、
それぞれの地域の歴史的環
境を構成する文化財の新た
な価値を見出し、都市計画
やまちづくり計画との連携
を積極的に図り、これまで
の視点を変えた文化財の整
備と総合的な活用を図るこ
とを目的としている。

文化財は地域の財産であ
るとともに、一級の観光資
源ともなる。自然環境との
調和の中で整備を行い、積
極的に活用を図るための計
画策定を行う。

競艇事業運営に関する 調査特別委員会

委員長 荻野 忠

報告書

みどり市は、合併により「桐生競艇」の施行者として阿左美水園競艇事業を引き継ぎ、本場、なんぶ場外売り場とも事業の実施、運営を行っている。そのため契約事項、内容は広範多岐にわたり複雑なものとなっている。

本調査特別委員会は、競艇事業が今後ともみどり市財源の安定的な確保に資するため、将来にわたって禍根を残すことのないよう、過去の経緯を再確認し、今後の適正な契約のあり方について、調査研究をしてきた。調査期間は、平成19年6月から平成20年2月まで行った。内容は、競艇事業の現状として

契約内容について

②市への財政貢献と経済効果について

③地域への影響の是非について、調査を行い、報告書を作成した。

また、今後の課題についても意見を明記した。

議長に、この報告書とともに、繰り出し金等の調査資料、施設使用料の料率の推移、そして契約及び覚え書き等の締結時系列綴りの資料も一緒に提出し、今定例会をもって解散することとした。

一般質問

市政を問う

Q 食糧自給率と安心安全な生産は

A 国・県との共働で推進

古田島 和茂 議員



問 今、消費者も食の安全ということに一層目を向けている。先進国と言われる中で、自給率が、これほど少ないのは本国のみである。国も、そのカロリーベースで45%まで向上させようとしているが、市として必要性をどう考える。地産、地消の原点に立てば、生産者と消費者への啓蒙は遊休農地や放棄農地が多く見られるが、利用施策は農林業等、後継者不足は否めないところである。団塊世代が定年期を迎え、今後高齢化に拍車がかかると思われる。こ

れらの人達とのコラボレーションが考えられるのでは。産業観光部長 自給率の向上はもちろん、必要性も踏まえ、市として当然考えていかなければならないこと、市独自では難しい。国、県との共働で推進して行く。現在、消費者が食料品に対して不信任を抱き食の安全が更に求められている。食の安全安心を考えると地産地消は不可欠であり、普及していかなければならない。団塊の世代の人たちが農業に参画していただければ遊休農地の解消につながるが、商品として販売するには関係機関が協力して検討していく。高齢者対策の一環として位置づけられるなら、関係課との連携を図り協議していきたい。

問 限界集落は、みどり市北部でこの状況が多く見られる。単に消滅集落とするのか、水源地でもあり、不

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



鍋木 豊 議員

Q 予防医学への認識と市の取り組みは A 市の現状としては取り入れていない

法投棄あるいは下流域におよぼす影響を考えれば歴史の流れだけでは済まされない。把握状況、対応策は。
産業観光部長 細かい調査はしていない。地域との連携が必要である。地域の人からこう活性化したいとの要望が出なければ、タウンミーティングをさらに細かくする必要もあるのでは。
問 みどり市ブランド認証後の検証はどうか。PRは

活動は業者まかせになっていないか。県のアンテナショップへの売り込みは。みどり市応援団との関わりは。
総務部長 新ブランド開発を含め大いに営業していく。応援団の方々にさらなる協力をいただく。東京銀座ということ、消費の拡大は期待できる。



▲地産地消

問 近年、様々な病気の原因が解明されつつある。本市における予防医学への認識と取り組みは。
民生部長 各種健康診断、予防接種、人間ドック助成等を実施している。

問 体内に発生する必要以上の活性酸素が病気の原因であるとの研究報告がなされているが、市においての認識は。
民生部長 ストレス等で発

生し、老化現象や様々な病気に影響していることは確かだと認識している。
鍋木 近年における生活習慣の著しい変化で、発病はますます若年化している。予防医学に向けた講習会等を開催し、活性酸素に対する認識や酸化することの大切さを市では大いに啓蒙していったきたい。

大間々北部3校の問題について

問 学校適正化規模検討委員会の動き出しの時期、構成員、今後の児童数見込み、通学区変更の現状は。
教育部長 検討委員会の動き出しは当初予定より早まりそう。構成員は2年の任期でスタートしているが変更、増員も考えられる。児童数の減少は更に進み、通学区変更を希望する家庭は全児童数の1割を占め、大きな数字だと捉えている。
市北部（山間地域）の今後 問 明るい話題が聞こえない。地域を活性化するための施策はないか。
総務部長 魅力ある地域である。地域格差の出ないよう観光資源等を活かし、地域で考えた地元の声を持ち上げ、市政に活かせるよう

配慮する。
問 わたらせ渓谷鐵道沿線の取り組みは。
総務部長 多くの市民団体等の活発な活動があり、花壇の整備、イルミネーション、作品展示等、点から線への取り組みが始まりつつある。今後更に市と地元が一体となって活動していく。
問 仮称「桐生西消防署」東側の交差点改良の計画は。
総務部長 当面は停止線の位置を下げて対応し、その後は状況を判断して交差点改良を考えたい。
その他の質問 ○消防団の出動区分の見直しについて



▲みどり市全図

Q 補助金等の見直しは

A 市単独補助金約6億3000万円を対象に

金子 實 議員



問 予定される第三者機関（補助金等検討審査会）の設置についての考えは。

総務部長 要綱はあるが委員は決めていない。他市も参考に検討したい。

問 指定管理者にも諸々の補助金が含まれているものもあるが、見直しの対象になっているか。事業の効果、継続の必要性を検証する時期ではないか。

総務部長 今回は調査の対象としていない。使用料等収入がある事業は委託の意義があると思う。市より節約や効果をあげてもらう配慮がされていると思う。今後検討したい。

問 補助金等の見直しは市民・諸団体・議会など、市全体で取り組む必要があると思うが市長の考えは。

市長 補助金の見直しは大変な作業と思っている。市民団体からの要望を継続し行いたい。基本的に市民が

みて市民が納得できる視点で進めたい。

その他の質問

○合併浄化槽設置整備補助金について

○入札制度の整備について

Q 大間々町内の未登記地は

A 未登記地982件ある

大澤 映男 議員



問 大間々町に市民が知らない未登記地があるというが本当か。あるとしたらどの位あるのか。何年前から

のことか。なぜ放置しておのか説明願いたい。

都市建設部長 昭和30年代から40年代にかけて、大間々町の道路工事については直営工事を中心だった。当時は建設課の中に登記係が設けられ、登記専門に処理が行われてきたが、登記処理が後手になり、広がった後に登記する手続きのため処理件数が膨大になり、登記が間に合わなかった。合

併前までは1936筆あった。その後総務課内に管財係を設けてこの処理を行ってきた。この処理件数が936筆処理し、1000筆位残って合併に至った。現在では982件の道路敷が未登記地に残っている。

問 いまだに、1000筆近く未登記地があるということだが、今後の開発に支障があるのではないか。40年も前のことだというが、



一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



蓮 孝道 議員

Q マニフェストを客観的に評価するしくみづくりは A 第3者機関にお願いする

問 任期の半分を終え、マニフェストの進ちよく度は。
市長 完璧ではないが、個人採点として6、7割は進ちよくしていると思っています。

市長 企業誘致等に関して、みどり市の立地条件も考えて、健全な企業誘致を模索中。来年の今頃には、おもしろい提案ができると思う。
問 市の総合計画とマニフェストとの整合性をどうはかるか。

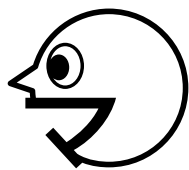
市長 今回の機構改革による市長公室がコントロールをする。
問 マニフェストを客観的に評価するしくみをつくるべきでは。
市長 第三者機関にお願いすることが大切。桐生JICからマニフェスト検証の話がきているので、受けるつもりでいる。
Q 家庭での読書習慣づけを
A ブックスタート事業を実施する
問 全国学力テストの結果として、読書の取り組みをしている学校の方が、取り組みのない学校より国語、算数(数学)の学力が高かった。また、平成17年の文科省の調査では、保護者が本を好きな場合、子どもも本を読むという結果が出ている。つまり、読書習慣が児童生徒の学力向上に良い影響を与えていると考えられるが、市の見解は。
教育部長 その通りである。市では子育てに読書を

証拠書類は整理されているのか。
都市建設部長 開発の関係になると、未登記処理の土地を処理してからでないといけない。開発等にかけるられない。開発に支障があるかないかと言われれば単刀直入に申し上げれば「支障がある」ということになる。また書類関係については大間々町の時代から「寄付申込みの綴り」があった。文書関係は保存年数が決まっているので、今現在あるかどうかの確認はしていないが、年数が切れていれば耐火書庫の規模等の関係もあり、処分してしまったものもあると思うが、保存年数があるものについては管理されていると思う。
市長 未登記地の問題については非常にびつくりもしているし残念にも思う。ただこのまま放置してよい問題ではないことだけは確かである。時間がかかるかもしれないが一つ一つ丁寧に解決していくことが、我々今現在執行部としての責務であると考えているので当然地権者はもとより、市民に対して誠意を持って進め

ていきたいと思っている。

取り入れるために、図書情報の収集、提供を行っている。

問 至誠クラブからブックスタート事業を提言している。家庭での読書の習慣づけのためには、一過的でなく、継続的な支援が望ましいと考えるが、市のブックスタートに対する考えは。
教育部長 みどり市に生まれる全ての赤ちゃんを対象に、どの家庭でもすぐに絵本を開いて赤ちゃんと一緒に時間を持つことができるきっかけを作りたい。未就学児だけでなく、就学児にも継続した支援を研究していきたい。効果的にできるように幅広く研究させてもらいたい。



マニフェストを読んで選挙に行こう。

▲マニフェストを読んで選挙に行こうキャンペーンロゴ

Q 不祥事の再発防止は

A 情報の共有でチェック機能を

常見 詔子 議員



問 水道局の贈収賄事件の舞台となった塩原配水池の未買収用地の今後は。

水道局長 高草木建設所有1958㎡は代理人の弁護士が和解の方向で交渉中。もう一件は緊急遮断弁設置用地484㎡で用地買収の交渉中である。

Q 決算報告書等の開示を指導しては

A 区運営のマニュアルを作成する

問 合併後2年連続して不祥事が問題となった。市長は人事の停滞が一因、今後人事の刷新を図りたいと述べているが。

水道局長 旧水道局は一部事務組合という独立した組織体制だったが、今はみどり市の一部局として組織機構や議会・監査においてもみどり市の体制となった。

問 市長として原因究明や再発防止については。

市長 組織と言っても人がすること。高いモラルと意識を持つてほしい。お互いにチェック機能が果たせるよう情報の共有に主眼を。

けで運営されていて区費がゼロという区も4カ所あると聞いている。

問 市の補助金や区民の区費で運営するからには、支出内容や事業について開示しなければならぬのでは。

総務部長 決算報告書等の情報開示や領収証等の文書保存、区運営のマニュアルを作成して各行政区に示していく。問題があれば新年度の取り組みの中で、修正する方向で指導していく。

その他の質問

○みどり市の地域経済の活性化について

○広報誌やホームページの有料広告掲載について

○不要入れ歯を回収して、国連児童基金へ寄附を

Q 西鹿田地内の廃墟撤去は

A 原因者との話し合いを持つ

宮崎 武 議員



生部予算の中で、福祉医療費の占める割合を確認したい。

民生部長 小学校3年生までが3.3%小学校6年生までが3.7%である。

問 全国的な統計を見ても、民生関係の総支出額4%以内であれば、十分可能である。平成20年度、3年生までの延長を執行したうえで、本年度内十分検討した中で、平成21年度実施目標で推進

問 12月本会議でも確認を取った乳幼児福祉医療費の小学校6年生までの延長について確認、みどり市の民

を要望。全国各地の自治体でも、義務教育終了時まで無料化は、重点施策として取り組んでいる現状があるので、みどり市でも市独自の施策とし他市がどうのではなく推進を要望する。

副市長 少子高齢化に対応するには、大変重要な施策と認識している。十分検討に値する提言なので、検討する。

問 4月から実施する笠懸



▲塩原配水池

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



椎名 祐司 議員

Q 企業誘致の優遇措置は A 条例化を含めて検討していく

第二保育園の分園は、事務方の早く早くとの思い込みから発したことで、大きな予算執行をするが、公平公正の自治体の姿勢からすると、公平感にける執行であり、もっと十分な周知期間を置いたうえで、実施できなかったのか疑問が残る。

民生部長 待機児童解消のため重要な施策と考えたうえでの実施であり、間違った運営体制ではなかった。問 新聞報道について、保護者等に、周知のうえで説明会を開き、後に新聞報道を行って欲しいとの要望を



▲西鹿田地内の廃墟

民生部長 1月中旬に新聞報道をした、との状況の中で行ったが、保護者説明会でも声が上がったことについて配慮が足りなかったと

合いは行っていないと思うので話し合いを持ちたい。**宮崎** ともかく地元の子供達の間でお化け屋敷と言われているので、早期に原因者との話し合いを要望する。**その他の質問** ○グーチョキパスポートの推進について。母子寡婦福祉資金の条件緩和についての要望等

問 企業誘致を行う際の税制上の優遇措置等の法整備についての考えは。**産業観光部長** 進出を希望する企業に対しては進出意欲につながるような優遇施策を他市町村の例を参考に研究し、条例化を含めて検討していきたい。

歴史遺産のまちづくり 問 東町花輪宿では、古い商家の看板を活用した取り組みが始まった。大間々の商家、わたらせ渓谷鐵道の駅舎等も観光面での歴史遺産の活用が期待されるが。**産業観光部長** 花輪地区では、花輪宿にあった商家の

屋号を復活し、観光面での活用をするため屋号看板30基を設置する。大間々町の町並み活性化については、都市計画課が進めている「観光巡り整備プラン」と連携し検討していく。**問** 文化財ボランティアの養成については。**教育部長** 文化財ボランティアは、行政ではカバーしきれない文化財の保護や啓発、活用に大きな役割を持つているのでその養成は重要な政策課題である。**みどり市の夏祭りについて** 問 検討課題として、大間々祇園まつりのイベントを凝縮していくことを要望したい。大間々祇園まつりの伝統を守りながら、みこしの部門、パレードの部門と行事内容をはっきりさせれば、実質2日間で大間々祇園まつりのイベントが開催できると考える。また、特色ある夏祭りとして、例えば、草木湖まつりを大規模な花火大会に特化していくような新たな形態を考えていく必要があると思うが。



▲大間々祇園まつり

市長 各祭りの成り立ちには、歴史や過程があり、重んずるべきだと考える。ただ、その時代の中で特化していくのも一つの方法であると思う。各実行委員会や参加する住民の意見を十分に聞きながら検討してもらいその結果のことであれば尊重していきたい。**問** 旧3町村の一体感を醸成するイベント、祭りの一つとして「あかがね御用銅代官行列」を提案したい。**市長** 歴史のある銅街道なので、みどり市のみならず他市とも繋がるイベントにしてもいいと思う。

Q 新体育館の運営は

A 当初は直営、平成22年度から委託も

新井 巖雄 議員



問 体育館建設の進ちょく状況は。管理運営は直営か委託か。

教育部長 工事は順調に進んでおり、10月末に完成、来年1月頃の開館を予定している。平成20年度、平成21年度は直営で行い、ランニングコスト等を把握したい。

平成22年度から指定管理者も含めて委託を考えている。

問 体育協会に委託するとの話もあるようだが、協議はしているのか。

教育部長 具体的な詰めが遅れているので協議はして

いない。体協は市のスポーツの一翼を担っているもので、今後も協調して、スポーツの振興をはかってもらえようと思っている。中身は別として、できるものならお願いしていきたい。

問 トレーニングルームの活用と運営は。

教育部長 健康の維持、生活習慣病の予防など市民の健康づくりに貢献したい。運営は当初から専門業者に、インストラクターの派遣も含めて委託を考えている。福祉関係との協調も検討したい。

問 駐車場が不足すると思われるが、J Rの南の土地を取得できないか。

市長 良い場所なのでほしいと思うが、財政面もあり許せる範囲で検討したい。

公民館活動の推進は

問 公民館を自治の学校にするためには、職員の役割が大きくなっており、より

いっそうの資質の向上が求められている。笠懸公民館に社会教育主事を複数名配置できないか。

教育部長 笠懸地域では社会教育の中心を担ってきた公民館がその役割と機能をはたすために、社会教育や

公民館の特性を理解した職員を配置することが望ましいと考えているが、社会教育主事の有資格者にも限りがあるので、当面は職員研修の充実をはかりながら、住民と共に学び、育つ職員の育成をはかりたい。

問 公民館についてどのよう考えるか。

市長 大間々に新しい公民館を建設することは現在考えていないが、公民館活動



▲総合社会体育館建設現場

は意義のあることなのでサポートして行きたい。将来的には整備する必要がある。

Q わた溪経営の決断が見えないが

A 平成21年には決断したい

荻野 忠 議員



問 わた溪には、多くの協議会があり、議論をしている。平成17年から5年計画で行っている「わたらせ溪

谷線再生基本方針」もそのひとつだ。今度は「修正経営計画」を作り、平成19年から3年間で行うようだが、「屋上屋を架す」ようで重要な経営の決断が見えてこない。また、本社移転計画や経営損益の圧縮効果があると思われる上下分離方式の導入研究は行っているのか。

総務部長 本社移転は、経費の削減や業務融合のため

に平成20年度内に行う。分離方式は、わた溪にとって鉄路関係の部分が切り離されメリットがあると思うが、まだ考えていない。

市長 市長として副社長として、いろいろな結果をもって平成21年には決断したい。

問 いま導入しようとしているデマンドバス方式は、2、3年のうちに1億円以上の初期投資がかかる。同

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



山口 慶一 議員

Q 行政区の統合・再編は A 今回は一過程であって、終わりではない

問 行政区の統合再編の計画が出されたが、笠懸町は変わらず10区、大間々町は23区から17区に、東町では10区から5区に再編したが、大間々町に関してまだ再編の余地があると思われるが、市当局ではどう考えているか。

総務部長 事務局としては更にもっと進んだ最終的な意見は持っているが、今回はその一過程であって、これで終わりではない。地元の見聞きながら進めていきたい。

問 道路整備計画について笠懸庁舎への周辺道路の拡

幅や交差点等の整備の必要性が感じられるが。

都市建設部長 国道50号線からの進入路で10m道路として拡幅する予定で国道50号線のバイパスの完成時期にあわせて整備を進めて行く。また県道大間々世良田線J Aぐんまみどりからの進入路4mを車道6m、歩道2mに拡幅する予定。

問 大間々桐原宿の道路（市道1級21号線）を使い国道353号線と国道122号線の交差を現在の6丁目地点でなく11区地点で接合される。そして市道1級21号線を国道に昇格させるという考えに対し、市長の考えは。

市長 市道1級21号線を国道に昇格することに対し可能であると思う。深夜他県からの大型車が数多く通るといふことも聞いている。

問 市道1の13号線瀬戸ヶ原への道路の拡幅整備の見通しは、この道路は住民にとって長年の悲願である。

都市建設部長 重要な路線なので地権者との地道な努力により1日も早く良い結

様な方式でもっと財政負担のかからない方法もあると思うが。

総務部長 今の路線バスは経費がかかり過ぎるので、この方式を考えた。改善できることは改善したい。

市長 やってみないと分からないので、実験はしてみたい。だめなら直せばよいと考えている。

問 岩宿駅の現状は、みどり市の窓口として寂しい限りではないか。この周辺には阿左美沼、市場をはじめパルや総合社会体育館も完成する。多くのまちづくり

の資源がある。みどり市としてこの周辺全体の将来ビジョン構想はないのか。

総務部長 現在、将来構想はできていないが、計画の必要性は考えている。まず道路改造を行い、国道からバスが回遊できるようにしたい。駅の改修は多額の事業費が必要のため補助事業など検討したい。まずトイレ改修などから行う予定だ。

※上下分離方式の解説：
財政責任の明確化をし、経営努力の結果が分かりやすくなる方式。ヨーロ

ッパ地方ではすでに取り入れられている。鉄道施設等の設備面は県や自治体が、民間会社は、運行などの経営だけを行う方式。

果をもたらすようやっていく。

問 県道大間々駒形線、いよいよ高津戸橋の架け替え、そして周辺道路の整備拡幅が進行しているが、国道122号線からの始点からの拡幅は考えているのか。

都市建設部長 国道122号線から300m程考えているが予算のこともある中で、現在の都市計画道路が平成23年3月に完成予定なので、それが終了した時点で考えている。

Q 「縁台」の設置で街の活性化を

A 光景がイメージできる良い提案

須藤 健久 議員



権者の承諾を得て休憩空間とすることに前向に検討する。

都市建設部長 みどり市住宅研究会、商工会に協力をお願いする。

子ども達の安全な環境づくりについて

問 青色街路灯の設置目的を。

総務部長 市内の三箇所には防犯対策として県の補助で街路灯を設置した。

問 防犯効果が認められた場合の今後の取り組みは。

総務部長 市として積極的な導入し設置する。

問 子ども達の安全・安心への環境づくりは、どのように考えているのか。

教育部長 青色防犯灯の通学路への設置は、青少年育成からも積極的に取り組む災害時の高齢者・障害者の具体的な安全対策について

問 災害時の高齢者・障害者の具体的な安全対策や支

市長 光景がイメージできる良い提案である。

産業観光部長 空き地を地

援をお尋ねしたい。

民生部長 一部の高齢者世帯には、緊急通報装置を設置し、またSOSカードを配布している。具体的な安全対策は、早期に防犯対応者と協議し対応を検討する

問 社会福祉協議会・民生

委員・区はどのような役割を担っているのか。

民生部長 社会福祉協議会では、防災ボランティア養成講座を実施している。

民生委員の役割が多く、区とも相談して災害時のネットワーク化を検討する。

市長 災害時の対策には、市民力や地域力が必要であり仕掛けは行政が行う。

今の時代に合った、市民の協力が得やすいシステムを

構築する。



▲縁台

Q 嘱託・パートの待遇見直しは現場の混乱、収支の悪化に

A 要綱に従い4月から実施し来年には完全施行

坂本 正幸 議員



を聞きたい。

産業観光部長 (サンレイク草木において) 嘱託で13万5600円、パート1時間700円から780円、顧客の送迎実働1時間800円、1日の実働時間6時間。嘱託職員5年、パート3年を限度に採用しない。

問 現場の仕事内容、経営を理解していない待遇だ。研修等により積み重ねた技術、経験、特殊性が評価さ

問 サンレイクをはじめ市直営の観光施設は嘱託・パート職員が雇用に対し不安を抱いている。今後の待遇

れていない。支配人、館長は市長代理としてある程度の裁量権を与えなければ現場の統率・士気は低下する。各施設の良い所が失われ、みどり市の観光事業は徐々に後退してしまうだろう。

総務部長 美術館とサンレイクにおいて1年の猶予を設け、全て要綱どおり実施する。理解していただきた

問 合併協議では施設の実

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



原田 好雄 議員

Q サンレイク草木は直営見直しの議論を A 市民の声を聞いていろんな方策を持つて

問 サンレイク草木の運転資金がなくなり、補助金として5000万円が3月補正で出された。数年前からの業績不振に起因しているものの一昨年発覚した経理不正問題のつけが市民に回ってきたといえる。会計処理についての調査で指摘さ

れたチェック機能、事務処理の不備などは改善されたのか。
総務部長 計理士が入ったり、法令遵守に向かっていく。
問 昭和56年、広域圏の事業として全額広域圏の負担によって開設され、その後

も財政支援を受けながら、営業してきた経緯があり、広域圏が後盾になつてきたといえる。今年度の収支は5600万円の赤字が見込まれ、正職員17人、嘱託臨時が20人で、人件費比率も57%という状況をみて、どうも行政がホテルを直営していくのはなじまないのではないかと。民営化を議論すべきでは。



▲耕作放棄地

Q 害獣による農林被害者の悲痛な叫びと生態系の異変を担当は把握しているのか

問 ここ数年桐生広域圏の被害は想像を絶する。市の資産であると共にみどり市の水源である袈裟丸山と周辺の食害・生態系の乱れは特に深刻である。広域圏全体の被害を単純に金額に見積ったとして数億に上るのでは。治山治水、温暖化による問題が大きく叫ばれている中、市民の財産・環境を守るた



▲熊の皮はぎの被害

も財政支援を受けながら、営業してきた経緯があり、広域圏が後盾になつてきたといえる。今年度の収支は5600万円の赤字が見込まれ、正職員17人、嘱託臨時が20人で、人件費比率も57%という状況をみて、どうも行政がホテルを直営していくのはなじまないのではないかと。民営化を議論すべきでは。

市長 外的な要因として様々な環境の変化が30年を経過して起こってきた。変化に対応できるサンレイク草木であってほしい。方法論として、今の形態がいいか、別の形態にするのがいいか、専門家や広域市民、利用者の人達の話聞きながら、設立時の精神を大切にしつつも、いろんな方策を持つていきたい。
耕作放棄地が改善される措置は
問 相続や利殖目的とみられる耕作放棄地が、雑草の繁茂、鳥獣害の発生など長年周辺に悪影響を及ぼし、環境の悪化ともなっている。農業委員会としてどのような指導や勧告がなされてきたか。
農業委員会事務局長 所有者に連絡して改善を指導しているが長年荒れている土地もある。
問 改善がみられない場合その先はどういう方法があるか。
農業委員会事務局長 農地法では農地の適正管理の指導にとどまってしまうが、進展が見られない場合、強制力を持つ農業経営基盤強化促進法の措置を検討することもあるのではないかと考えている。

A 森林組合の調査では昨年度だけでも2000万円以上の被害と聞いている

めにも隣接の市、県と連携し緊急な対策をとるべき。
産業観光部長 重要案件として引き継ぐ。

Q 小水力発電の研究推進を

A 積極的に検討していきたい

高草木 良江 議員



問 以前から子育てと仕事の両立ができる環境づくりを訴えてきたが、この度ファミリー・サポート事業を開始することの詳細を。

民生部長 子育ての手伝いでお願する会員と、ボランティア的な子育ての支援をしてくれる会員の二つで構成されるもので、運営方法は、桐生市の「NPO法人わたらせライフサービス」に委託する。

問 乳がん・子宮がん検診を現在の集団検診のみから、個別検診（医療機関）に併用できないか。

民生部長 個人負担もいただいており、集団検診から個人検診というところ、費用の関係もあり、財政等も検討しなければならぬ。今後検討して行きたい。

問 以前、環境問題の質問の中で訴えた、屋上緑化や緑のカーテンの推進状況は。

民生部長 来年度緑のカーテン事業の計画をしている。公共施設は一八ヶ所を予定している。つる物の種を希望者に配布し、一般の方々に協力をしていただく考え。

問 豊かな水のみどり市としては、小水力発電の研究推進をして行くべきでは。ほんの少しの落差を利用して、浄水場や配水池に小水力発電事業を導入している自治体もある。みどり市もこの様な事業の研究を。

水道局長 今回の質問を受けて、はじめて調べてみた

水道施設の配水池と汲水をする施設の水圧を利用した小水力発電事業で今、国では環境対策事業が行われており、水道局に対しても一事業体という中で、どれ位の取り組みができるかという照会が入ってきている。

調査を今後早急に始めていきたい。

総務部長 みどり市には渡良瀬川と山間地に支流がある。今言った落差というのはなくて、今の技術では落差がいらないで発電もできる。そういったエネルギーを作って、地球の温暖化に少しでも手助けできることがあれば市としても積極的に検討していきたい。

その他の質問



▲桐生市利平茶屋小水力発電機

- 発達障害の早期発見に5歳児検診の導入を
- 肝炎治療に医療費の助成を
- 低所得世帯に火災報知器の助成を

Q 温泉施設料の一本化は

A 状況を見極め検討したい

小内 信一 議員



問 笠懸町には、「かたくりの湯」、「老人憩の家」の二施設、大問々町は「老人憩の家」、東町は、「老人福

祉センター（まごころ）がある。みどり市内の、温泉施設と福祉施設の今後のあり方について協議すべきではないか。

民生部長 民生常任委員会では、協議をしていた。で今後は、協議をしていただきたいと思えますし、また、社会福祉協議会との兼ね合いもあり検討課題とさせていただきます。

問 笠懸町の温泉施設「かたくりの湯」と「笠懸健康

センター」の共有駐車場のトラブルがあると聞くが現状はどうか。

民生部長 利用状況は昨年度より一日平均十数名減少しているが、一昨年の合併後の入場者は年間で一万人以上の増加が、顕著に現れている。旧笠懸町時代に実施した65歳以上無料化等で利用者が増えており、検診日に交通整理をしても口論になっってしまう状況だ。

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



上岡 克己 議員

Q ファミリーサポート事業を介護にも A 今後検討

問 福祉政策（無料）も大事だが、原油の高騰の中で受益者負担も考える時期では。

市長 指定管理者制度は効率的に考えて行き、必要であるサービスは惜しまない。

受益者負担を原則に、送迎バス、入場料も検討する。

市内循環バスを見直し、早期デマンドバスの実現を
問 笠懸の一部を走る市内循環バスの見直しで、みどり市内全域を網羅できる、デマンドバスの早期試験運転を心待ちにしているお年

寄りがある。また西鹿田、久宮地区の学童の通学バスの兼用で使用するなど、多くの保護者がスクールバスを望んでいる。

市長 来年度にデマンドバスの予算8500万円余の予算をお願いしている。賛否両論と思うが、調査・研究をした。始めから完璧ではないと思うが利用者の観点に立ち進めていきたい。

遠距離通学児の件については、デマンドバスを使う予定はないものの、西鹿田、久宮地区から通う低学年は大変だと思う。議論し、検討する。



▲笠懸保健センター

問 核家族や共稼ぎ家庭が増える中、残業や急用などで、一時的に子どもを見てほしいという要望を受けて、ファミリーサポートセンターが設立されているが、運営はどのようにやっているのか。

民生部長 運営委託は、桐

生にある、NPO法人わたらせライフサービスである。利用料金は、1時間700円から900円、午前7時から午後7時まで、活動状況は、保育園や幼稚園の迎えや帰宅後の預かり、子どもの習い事の送り迎えなどに利用されている。

問 このNPO法人は、育児だけでなく、食事の準備、後片付け、部屋の清掃、洗濯、買い物、病院の付き添いなど、高齢者への介護サービスもやっている。育児サービスもやっているのか。

民生部長 介護サービスがあるのを知らなかった。決して不必要とは思っていないので、今後検討していく。

問 ひとり親家庭のお父さん、お母さんが、残業や冠婚葬祭などで一時的に子育てが困難な時、また、お父さん、お母さんのどちらから入院した場合についての支援事業があると聞くが。

民生部長 このような場合の支援事業もある。平日は1時間700円、その内、県から半額の350円、みどり市から、200円の補助があるので、利用される会員は、1時間200円で利用できる。

問 何歳くらいの子どもが対象なのか。

民生部長 おおむね生後3ヶ月から小学生のお子さんである。

問 ファミリーサポートは、

元気な子どもが対象だが、病气、あるいは病气回復期にあり保育を必要とする時はどうするのか。

民生部長 ファミリーサポートに預けられない場合は、太田市にある「ぐんま緊急サポートセンター」で病气回復期にあり、集団保育が困難で、安静の保持が必要な場合の保育を看護師がい

て、専門に保育をしてくれる。



ひとり親家庭子育て支援パンフレットより転載

まちの声



大間々町
市川 智一

幼稚園に思う

我が息子はこの4月から幼稚園に通い始めました。みどり市になったものの笠懸町は公立幼稚園で2年保育、大間々町は私立幼稚園で3年保育と異なる。私の住む大間々町の幼稚園は1園で他は保育園のため桐生市へ通う子供もおります。小学生になることを考えると、友達づくりの観点からも園の選択に迷う親も多いかと思います。子供の数が年々少なくなる中、大変だとは思いますが、是非とも公立幼稚園を大間々町にも設立して欲しいと思います。みどり市になって望むことは若い世代の方々が他の地域に移ることもなく逆に移り住み、いつまでも本市に居続けたいと思うてくれるまちづくりです。



東町
新井 恵子

市民憲章の制定

みどり市誕生2年目を迎えた3月27日。みどり市市民憲章が制定されました。

この2年間で振り返ると新市の一体感に欠けるという市民の意見が目立ったように思います。しかし今回、東町、大間々町、笠懸町のそれぞれ郡の異なった二町一村は、改めて一つの憲章のもとに結びつきました。

旧二町一村には、渡良瀬溪谷の自然風土に育まれ、岩宿遺跡やあかがね街道など歴史の遺産より引き継がれてきた地域のすばらしい文化・伝統があります。今後のみどり市がそれぞれの文化・伝統を尊重しあいながらも、1つの市として文化の融合ができるように願っています。



笠懸町
竹政 和子

安心のまちづくりへ

大間々町に長く住んでいましたので愛着があり、笠懸の皆さんとなかなか馴染むことができませんでした。が、昨年の秋「笠懸町民文化祭」で小品盆栽サークルのお手伝いをする中、様々な人達と触れ合うことが出来たことで、もっと早く地域の皆さんと仲良くなれたら良かったのにと思っている昨今です。

合併して一体となったみどり市の三町は、個性は異なると思いますが、その地域独自の特性を大切に、新たな対策にも取り組み「市民が安心して心豊かに暮らせるみどり市づくり」に議会の皆様が生懸命に取り組んでいただきたいと思います。

編集後記

中国産冷凍餃子中毒事件が発覚し、輸入食品の安全性、40%に満たない自給率の問題がクローズアップされた。サブプライム問題は日本経済にも深刻な影響がはじめています。

国・地方はかつてない財政難に陥っている。年金問題、道路特定財源に関する暫定税率、無駄使いや不透明な税金の使われ方、財政悪化に伴い福祉やサービスの後退等々住民に不安と不信、不満を与えている。

この状況をこれまで見過ごしてしまった国・地方議員のありかたに疑問の声が上がることは当然であろう。みどり市議会議員として本来の使命であるチェック機能の大切さを改めて認識しなくてはならない。市民の立場に立ち、是非非で判断し行動する議員・議会が市民から求められている。

(坂本 正幸)

編集委員

委員長
副委員長
委員

蓮 孝道
鏑木 豊
宮崎 武
坂本 正幸
原田 好雄
新井 巖雄
金子 實
上岡 克己

次回定例会 (予定)

6月9日(月)から 午前9:30～

皆さんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ ☎ 76-1970